

高橋 はるみ

北海道知事

私は、北海道を日本のエコツーリズムの一大拠点にしたいと考えています。

世界に誇る観光立国を目指す北海道は、6か所の国立公園を含め23の自然公園を有し、その面積は約86万ha、東京都の面積の4倍に相当し、エコツーリズムの推進にとって、多くの自然資源に恵まれていると言えます。

また、北海道の自然は、冷涼な気候により典型的な亜寒帯地方の特性を有し、植物相と動物相は津軽海峡のブラキストン線で区分されるように本州以南と大きく異なっており、国内において特異な自然を有する地域と言えます。

このような北海道の自然資源を私たちはこれまで十分に活かしてきたかという疑問があります。端的に言うと、北海道は、温泉の活用や新鮮な食材の提供には努力してきましたが、古くから先人が苦労を重ね切り開いてきた開拓の歴史や、それにより培われた北海道人の開放的な気質、現代に息づくアイヌの伝統文化、そして、本州とは異なる原生のままの自然の素晴らしさと厳しさなどのアピールが十分ではなかったように思います。

道では、このような北海道が持つ資源を活かすため、平成14年4月、アウトドア資格制度を導入しました。この制度は、観光客への質の高いサービスの提供と事業者の健全育成、事業の対象となる自然環境の保全を目的としております。このアウトドア資格制度は、これからの道内エコツーリズムの質を高めるうえで重要な役割を果たす制度と考えています。

エコツーリズムは、北海道の歴史、文化、自然を丸ごと体験していただく上で非常に重要な方策と考えており、このたび、知床をモデル事業地域に指定していただき大変感謝しています。地元知床におきましても、既に、質の高いサービスの提供を目的として、斜里町と羅臼町で活動するツアーガイドがガイド協議会を立ち上げており、このモデル事業の実施に当たり、当協議会の活躍に大いに期待しています。

私といたしましては、アウトドア資格制度などを活用し、地域の方々と協力しながら、北海道の宝・知床を起爆剤として全道にエコツーリズムを普及したいと考えております。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。